

情報公開文書

◆ 胆膵腫瘍における臨床病理・分子生物学的検討による新規バイオマーカー探索

1. 研究の対象となる方

2006年4月～2018年12月に当センターで胆膵腫瘍の外科手術、生検・細胞診検査を受けた患者さん

2. 研究目的・研究の方法

胆膵腫瘍の治療成績は未だ十分でなく、より有効な診断、治療法の開発が必要です。この研究では診療の過程で得られた既存試料(切除検体や生検検体、細胞診検体など)を用い、免疫組織化学染色などの病理学的検討や遺伝子変異、コピー数、発現解析などを行います。これにより、診療に応用可能な新規バイオマーカーを開発することを目的としています。

研究結果は国際・国内学会及び論文発表などを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 手術検体や生検検体、細胞診検体など。新たに検体の採取は行いません。病理所見、免疫組織化学染色、遺伝子変異、コピー数、発現解析などを行います。

情報: 年齢、性別、病歴、検査結果、病期(ステージ)、治療歴、増悪形式、予後、治療効果、カルテ番号、その他診断・予後に重要と考えられる臨床情報など

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター 消化器内科 須藤研太郎

5. 研究責任者

千葉県がんセンター 消化器内科 須藤研太郎

6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

7. 研究の資金源および利益相反について

本研究は千葉県がんセンター研究費、日本学術振興会または文部科学省などに申

請する科学研究費補助金、民間からの研究補助金などにより行われます。研究に関する利益相反は、当センターの利益相反委員会の審査を受けています。

8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は当センターの倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

9. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの試料・情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 消化器内科 主任医長 須藤 研太郎
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL 043-264-5431(代表番号)